THE ROTARY CLUB OF KITAMI

Rotary

R. I. DISTRICT 2500 JAPAN

北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス http://www.kitamirc.jp

2025～2026年度国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

R.I. 会長 フランチェスコ・アレッツォ

第 3517 回例会・2025 年8月 27 日

本日のプログラム

「職 場 移 動 例 会」

第 3516 回例会（8月 20 日）の記録

ロータリーソング それでこそロータリー

会長挨拶 小林会長

皆さん、こんにちは。まず始めに、８月６日に行われた納涼夜間例会についてです。準備段階から曽部委員長率いる親睦活動委員会の皆さん、大変お疲れさまでございました。ありがとうございます。非常に楽しい夜間例会だったと思っております。

８月は、会員増強および新クラブの推進月間です。ロータリークラブにおける会員増強は、会員の皆様の活動の支えとなるだけでなく、ロータリーの前進する活動において協力と総合的な力を発揮する機会になると思っております。私たちは共に手を取り合いながら充実したロータリークラブ活動を行い、また新入会員という新しい風が加わることで、会員増強につながると考えております。今年度は、他団体との交流も積極的に増やしていきたいと思っております。会員拡大の方法としては、さまざまなものがあると思います。知り合いを尋ねたり、オンラインの入会者プログラムを通じて寄せられた候補者にフォローアップしたりすることで、クラブの基礎が不足している分野を補うことができます。また、ソーシャルメディアを活用するなど、さまざまな方法があります。入会候補者には、例会に参加して奉仕行事の良い部分を見ていただくことで、活動の魅力を理解してもらえるのではないかと思います。地元企業や会員を基盤に、こうした取り組みを進める年にしたいと考えております。また、社会で活躍する若いリーダーも多く、地域の活性化に貢献している若い世代も増えてきていると思っております。異業種間の交流や社会貢献に関心を抱いている人たちも少なくないと思っております。このような若い人たちをクラブに加えることは、ロータリークラブの未来にとって必要な課題だと考えております。

さらに、８月５日から高校野球甲子園が始まっております。私はこの１週間ずっとテレビを見ていますが、注目している選手がいます。県立岐阜商業の横山温大選手です。横山選手は左手に生まれつき障害がありながら、人一倍努力して練習を重ね、レギュラーを勝ち取っています。県立大会では打率５割２分６厘という驚異的な数字を記録しました。横山選手は、家族や周囲の応援が支えとなっており、自分の活躍を見てもらえることを喜びとしているそうです。甲子園で活躍することで、障害があっても周りに負けないプレーができることを示したい、そして同じような境遇の子供たちに「やればできる」ということを伝えたいと語っています。昨日も横浜高校とのタイブレークで11回裏サヨナラ勝ちを収め、明日８時からの試合も注目しています。この１週間、若い人たちの力を感じ、目頭が熱くなるような日々でした。本日も例会を楽しんでいただければと思います。会長挨拶は以上とさせていただきます。ありがとうございます。

幹事報告 高橋幹事

1．北見ぼんちまつり実行委員会様より、第72回北見ぼんちまつり終了のお礼の文書が届いております。
2．来週８月27日は職場移動例会となっており、北見商工会議所の新しいビルで開催します。駐車場が少なくご不便をおかけすると思いますので、週頭に改めてメール等で皆様にご案内いたします。
3．９月19日、第2500地区　４ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問夜間例会が開催されます。会員の皆様の集合時間は17時20分ですので、お間違いのないようご参加をお願いいたします。理事、役員、委員長の皆様を対象に同日14時から意見交換会も開催されますので、開始15分前までにお集まりください。
4．10月25日に開催される第2500地区 地区大会釧路大会の参加申込の締切は本日となっておりますので、ご返答いただいていない方は早めにお願いします。登録料13,000円については、後ほどご案内いたします。
5．８月29日･30日に開催される日本看護学教育学会　第35回学術集会についてのご案内です。ご協賛いただいた皆様は、当日総合案内所にて無料で各ブースに入場できる案内がございます。ご興味のある方は総合案内所までお越しください。

誕生記念 辻会員・主藤会員・片山会員・五十嵐会員・舟山会員・野村会員・曽部会員・宮島会員

結婚記念 柏尾会員・髙橋(宜)会員

入会記念 田巻会員・宮島会員

ニコニコＢＯＸ

佐々木(雄)会員～７月25日から27日にかけて温根湯温泉で開催されたスターライトアカリウムは、地域の皆様や関係各位のご理解とご協力、そして多くのご来場者のおかげをもちまして、無事に終えることができました。北見ロータリークラブの皆様にも様々な形で大変お世話になりました。日程が決まって、たった２か月余りでここまで出来たのは本当に皆様のお陰です。改めて深く感謝申し上げます。今後も継続して開催したいと考えておりますので、その際はまたどうぞよろしくお願いいたします。

プログラム　「Passion Talk」

本日のテーマは「Passion Talk」です。お題は「今までで一番思い出に残るお祭りは何ですか？」です。普段は硬い話が多いですが、今日は夏休みということで、少し柔らかいお題となっております。私も北見に来てから、昨年北見神社のお祭りに行きましたが、非常に驚きました。素人縁日と呼ばれていたので、あまり大したことはないと思っていたのですが、かなりの数で内容も充実しており、びっくりした思い出があります。このような話でも、遠方で参加したお祭り体験など、様々なエピソードを各テーブルで共有していただき、約20分間お話いただきます。こんな面白い話がありましたよ、というのを共有していただければと思います。

テーブル１

こちらのグループは、花火大会の話題が非常に多く出ました。僕はお盆の最中に勝毎の花火大会を見に行き、すごく素晴らしかったという話をしました。すると、オホーツクでも７万発ぐらいの花火を打ち上げれば盛り上がるのではないかという意見も、三國会員から出ました。以上です。

テーブル２

宮島会員の方からは、自分が迷子になったという思い出の話がありました。４歳か５歳の時に迷子になると、普通ならお祭りの会場にいるはずですが、自分で歩いて自宅に帰ったという話です。最終的にはパトカーの出動となり、それが非常に思い出として残っているとのことです。木村会員も同様に、幼少期に迷子になった経験があると話していました。また、ぼんちまつりを企画運営している中で、北見ばやしを千昌夫さんに作ってもらった話が帰山会員よりありました。子供サンバもサンバ調にしたり、永田顧問に歌ってもらったりといった思い出があります。さらに、花火大会も当初は常盤公園で開催していましたが、徐々に住宅街となり保安距離が保てないため、小泉の河川敷に移動しました。移動した年には尺玉をあげたという思い出があります。厳寒焼き肉まつりも、現在は準備も機械化されて運搬が楽になったという話も出ておりました。以上です。

テーブル３

私たちのテーブルでは、高橋幹事と同じく勝毎花火の話題が出ました。私の会社で勝毎花火大会の警備に入り、スクランブル交差点で人や車の流れを見ていた際、人手が足りず私服で指示を出す状況がありました。その際、周囲から何者かと思われながら指示を出していました。さらに、北海道には四大花火や三大花火があるかという話になりましたが、調べた結果、存在しないことが分かりました。このような話もあって、良い思い出となりました。ありがとうございます。

テーブル４

服部会員からもありましたが、永田会員がぼんちまつりの歌を民謡歌手の山本裕美子さんとデュエットしたとのことです。従来の曲をアップテンポにするということで永田会員が歌うことになったそうです。また、松田会員からは綱引きの紅白戦でふんどし姿をスタートさせたのは、自分の時代からだという話が出ました。私は、ぼんちまつりの担当責任者として、まつりの期間を第４週から第３週に変更する提言を行いました。

テーブル５

お祭りの話題では、昔は「やし」の方々がお祭りを盛り上げていたという話が出ました。また、福地会員がソーラン祭りで優勝した話も共有されました。私はぼんちまつりの委員長を経験しました。思い出としては、屯田大綱引きを四地区対抗にしたのは私です。そこから３年間続けましたが、人手不足で出来なくなりました。最後に自慢話として締めくくります。

テーブル６

昔の北見では中央公園で雪像を作る雪祭りがありました。また、昔の神社の祭りは中央通りまで広がり、出店も今の倍以上あったとのことです。私は青森のねぶた祭りに参加した経験があり、最高に面白かったです。さらに、安酸会員は全国の祭りに参加しており、博多の山笠や福岡県内の祭りが非常に勇壮だったという話も聞きました。また、東北四大祭りや全国のだんじり祭りの話題で盛り上がりました。以上です。

テーブル７

お祭りは基本的にスタッフとして参加するものだという話から始まりました。厳寒の焼き肉祭りやぼんち祭りは、お客として行ったことがほとんどないという話です。転勤先で函館や小樽など、色々なお祭りに参加した話もありました。昭和新山のお祭りでは、山のすぐそばで花火を上げるため、これがきっかけで噴火するのではないかと心配になるお祭りもあるそうです。昔の秋祭りでは、神社にたどり着くまで30分かかるほど盛り上がっており、当時はテキ屋の屋台も出ていたそうですが、治安は意外と悪くなかったとのことです。今の北見のお祭りでは保健所が厳しいため、同じような食べ物ばかり出店される現状への意見もありました。以前、牛一頭丸焼きを企画したが頓挫した話も共有されました。

会員の輪

６月からクラブ会報・広報・雑誌委員を拝命しました。辞書を引くと「広報」とは、一般に広く知らせること。その知らせ。と書いてあります。私なりに意訳すると、会員の皆さんの活動をより活発にする、新たな仲間、新規会員を増やすきっかけを作ることの一翼を担うことと理解しました。まずは小さな一歩から踏み出してまいりますのでどうぞ宜しくお願いします。

（竹田　貴彦）

出席報告

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出　席　率
計　算　式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	C+E+F/(A−B)+D×100
本日	8／20	63	5	38	3	1	−	39	63.934%

【次回９月３日】

「北見ＲＣ創立夜間例会（88周年）」

2025～2026年度　北見R.C.活動方針

「クラブに革新を　笑顔で紡ぐ奉仕の輪」

～行動しようRotarianとして～

奉仕部門

「奉仕の四大部門」という言葉は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕というロータリーの綱領の四つの部分を指しています。「奉仕の部門」はロータリーの定款文書にはどこにも見当たりませんが、この概念はロータリーの活動の基本分野を説明する方法として、多くのロータリアンが使ってきました。